



行谷小学校 学校だより

トキが飛び交う佐渡の空

トキっ子

第3号 [6月号]

平成30年6月21日発行



シリーズ「元気が一番！」

6月は「いじめ見逃しゼロ強調月間」です

言 霊

校長 笠井 猛雄



東京都荒川区にある道灌山学園（専門学校）の創始者、高橋系吾氏の詩を紹介します。（右参照）

たった一つの言葉によって人は嬉しくなったり、悲しくなったりします。自分の心に感じた明るい綺麗な感情を素直に表すことができれば、みんなが楽しい雰囲気の中で過ごせます。一方、何気ない一言で、人を傷つけることもあります。

言葉には不思議な力があります。私たちの口から出た言葉は、周りの人に大きな影響を及ぼします。

作 高橋系吾

その一言
その一言で 励まされ
その一言で 夢をもち
その一言で 立ち上がり
その一言で がっかりし
その一言で 腹を立て
その一言で 泣かされる
ほんのわずかな一言が
不思議に大きな力持つ
ほんの一寸の一言で

6月の全校朝会で、子どもたちに次の話をしました。

昔から、口から出た言葉には、魂が宿ると言われています。これを「言霊（ことだま）」と言います。口から出た言葉は、「言霊」として心の中に残るのだそうです。その言葉を言った人はもちろん、その言葉を聞いた人の心の中に「言霊」として残ります。

口から出た言葉がいい言葉だったら、いい「言霊」として心の中に残ります。いい「言霊」なので、とても気持ちがよくって、明るい気分になります。逆に、悪い言葉、汚い言葉を使う人は、汚い言葉が渦を巻いてどろどろの汚い「言霊」になって心の中に残ります。自分では分からないけど、なんとなくイライラしたり、少しのことで頭にきたりするなど、あまりいい気分になれません。

皆さんはどうですか？悪い言葉遣いが癖になっていませんか？言葉をしゃべっている人、その人の「言霊」は心の奥底に刻まれるので、自分が言った言葉を忘れてしまうことが多いのです。だから、その悪い言葉が口癖になって、心の中に悪い「言霊」がどんどん増えていきます。一方、その言葉を聞いた人の心の中にも悪い「言霊」が残って、傷ついているかもしれません。

いい言葉をたくさん使って、悪い「言霊」を退治してください。感謝する言葉「ありがとうございます」、挨拶の言葉「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」などの言葉をたくさん使うと、いい「言霊」が心の中に残ります。自分も元気になるし、まわりの人にも元気を届けることができます。

悪い「言霊」が行谷小学校からなくなることを願っています。

いい言葉をどんどん増やして、「元気が出る学校」を創っていきましょう。

全校朝会の翌日、児童集会がありました。「元気が出る学校をつくるために、友だちを傷つける言葉をなくす方法を考えよう！」というテーマで、6年生を中心に縦割り班に分かれ、全校のみんなです話し合いました。「傷つける言葉を言った人を注意する」「言った人を止める」「言ってしまったらあやまる」「言われた人を助ける」「言われていやな言葉は自分でも言わない」など多くの意見が出ました。

「言霊」の力を信じて、子どもたちと一緒に「元気が出る学校」を創っていきたいと思います。

『子どもが育つ魔法の言葉』（PHP文庫）から紹介します▶「誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ」「叱りつけてばかりいると、子どもは『自分は悪い子なんだ』とってしまう」「励ましてあげれば、子どもは自信をもつようになる」・・・▶親、大人の「その一言」で子どもは育ちます。ご家庭におかれましても、ほめる言葉、励ます言葉、元気が出る前向きな言葉を、お子さんにたくさんかけてあげてください。